
IDCFクラウド

活用マニュアル

～Webサイトの本番環境を運用したい（Web1台構成）～

Webサイトの本番環境を構築したい（Web1台構成）

目次

(1) スナップショットの取得.....	2
(2) Mackerelでのリソース監視.....	4
(3) 仮想マシンのスペック変更.....	10



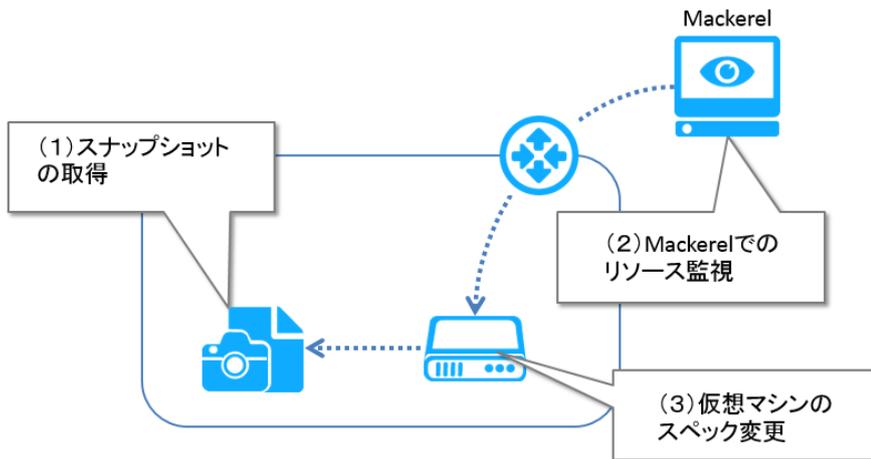
IDCF Cloud

最終更新日：2015/7/1

Webサイトの本番環境を運用したい(Web1台構成)

ここではwebサイトの本番環境（本番環境）運用中に必要となるスナップショットの取得、はてな社のMackerel（マカレル）の設定、マシンスペックの変更の手順を紹介します。

監修：IDCFフロンティア 藤城拓哉



(1) スナップショットの取得

スナップショットは、その時点のディスクの内容をそのまま複製する機能です。ディスクのバックアップのほか、マニュアル「スケーラブルなWebサイトを構築したい (Web2台構成)」で解説するように、スナップショットからテンプレートを作成し、仮想マシン作成に利用することもできます。

- ①クラウドコンソールから [ボリューム] を選択し、スナップショットを取りたいディスクを選択します。ここでは「web01」のボリューム（下記例では「ROOT-41436」）を選択します。

ボリューム名	ゾーン	アタッチ先	ステータス	タイプ	サイズ	スナップショット	作成日
ROOT-41436	pascal	web01	Ready	ROOT	15GB	未設定	2015/05/27
web01-disk2	pascal	web01	Ready	DATADISK	50GB	未設定	2015/05/27

- ② 「ROOT-41436」のボリューム画面で [スナップショット] を選択し、[スナップショット作成] を選択します。



- ③ 確認のメッセージが表示されますので [はい] を選択します。



- ④ 完了すると以下の画面となります。 [×] をクリックするとクラウドコンソールに戻ります。



- ⑥作成したスナップショットは、クラウドコンソールから [スナップショット] を選択すると表示されます。



(2) Mackerelでのリソース監視

「Mackerel (マカレル)」は、株式会社はてなの提供する、クラウドパフォーマンス管理ツールです。ここではマニュアル「Webサイトの本番環境を構築したい (Web1台構成)」で作成した仮想マシン「web01」をMackerelで監視可能にする例を示します。

- ① [東日本リージョン] - [Mackerel] を選択します。



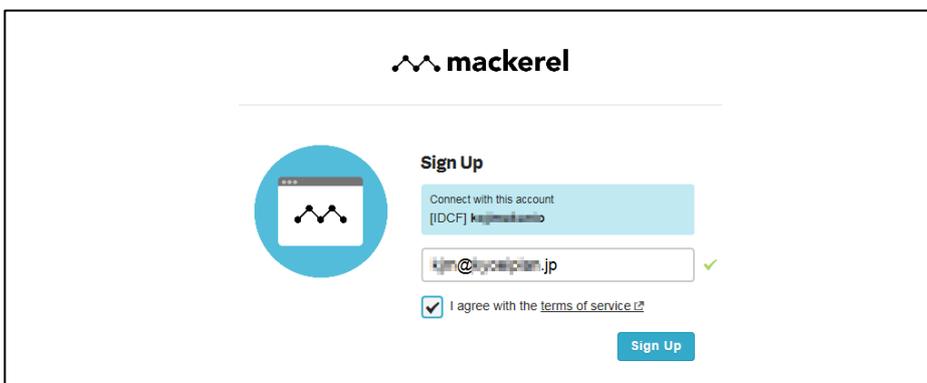
- ②別ウィンドウ（別タブ）でMackerelのウィンドウが開きますので、[sign up] をクリックします。



- ③ [ログイン] をクリックします。



- ④ユーザー名（メールアドレス）を指定し、[sign up] をクリックします。



⑤ コースを選択します。

At first, try 1 month free trial plan.

During trial, Standard plan, with full functionality, can be used.

	Trial Free	IDCF利用 Free	Standard 2,000 JPY
Hosts limit	Up to 255 Hosts	Up to 20 Hosts	1~ Contact sales for 20 or more hosts.

Start Trial plan

⑥ 「Mackerel!をはじめよう」画面が表示されますので、「2. 新規ホストを作成する」の「新規ホストの登録」をクリックします。

Mackerelをはじめよう

まずはホストを登録しましょう

Mackerelは、mackerel-agentをホストで動かすことで、そのホストに関する情報を収集します。

Mackerelではウェブ上やAPI経由でホスト群を管理でき、さまざまな側面からホストやサービスの状況を可視化、監視できます。

- 最初のオーガニゼーションを作成
はじめに所属するオーガニゼーションをつくります。
- 新規ホストを登録する
Mackerelにホストを登録するには、登録したいホストにmackerel-agentをインストールする必要があります。

ヘルプ

- 概要
- エージェントをインストールする
- サービス、ロールを作成する
- ユーザ定義のメトリックを投函する
- 用語集

新規ホストの登録

※英語表記の画面が表示された場合、画面右上のアイコンをクリックし、[Account Setting] → [User Interface] → [Japanese] で日本語表記となります

- ⑦ 「新規ホストの登録」画面で、[RPMパッケージ] を選択します。



- ⑧次の画面で、**1** 「ホストにエージェントをインストールする」の「a.」の1行をターミナルソフトから実行します。[Copy to Clipboard] ボタンをクリックするとテキストがクリップボードにコピーされますので、その内容をターミナルソフトに貼り付けて実行できます。

新規ホストの登録

Mackerelにホストを登録するには、登録したいホストにmackerel-agentをインストールする必要があります。
mackerel-agentのインストールが完了すると自動的にメトリックの送信が開始され、Mackerelでそのホストの状態を確認できるようになります。

お使いのOSに適したインストール方法を選んでください。

RPMパッケージ debパッケージ 実行形式ファイルを設置する Microsoft Windows Installer **experimental**

1 ホストにエージェントをインストールする

yumコマンドがrpmコマンドが選べます。

a. yumコマンドでインストール

以下のコマンドを実行してyumリポジトリを登録してください。

```
curl -fsSL https://mackerel.io/assets/files/scripts/setup-yum.sh | sh
```

Copy to Clipboard

yumコマンドを用いてインストールします。

```
sudo yum install -y mackerel-agent
```

b. rpmコマンドでインストール

rpmコマンドを用いてインストールします。

```
sudo rpm -ivh http://file.mackerel.io/agent/rpm/mackerel-agent-latest.noarch.rpm
```

アップデートの場合:

```
sudo rpm -Uvh http://file.mackerel.io/agent/rpm/mackerel-agent-latest.noarch.rpm
```

2 設定ファイルを記述する

以下のコマンドを実行して `/etc/mackerel-agent/mackerel-agent.conf` に設定を記述します。

```
sudo sh << SCRIPT
cat >>/etc/mackerel-agent/mackerel-agent.conf <<'EOF';
apikey = "/9yRLYCv6DA+WjNnO+y8WFOYFqM22jusACpHhLb1zR4="
EOF
SCRIPT
```

3 エージェントを起動する

以下のコマンドを実行することでエージェントが起動します。

```
sudo /etc/init.d/mackerel-agent start
```

エージェントが起動すると、サーバの構成情報や動作状況がMackerelのサーバに送信されるようになります。
動作の様子は `/var/log/mackerel-agent.log` に出力されるログで確認できます。

エージェントの設定が完了した新規ホストは、Hostsに表示されます。

```
# curl -fsSL https://Mackerel .io/assets/files/scripts/setup-yum.sh | sh
```

⑨2行目も同じように実行します。

1 ホストにエージェントをインストールする

yumコマンドがrpmコマンドが通べます。

a. yumコマンドでインストール

以下のコマンドを実行してyumリポジトリを登録してください。

```
curl -fsSL https://mackerel.io/assets/files/scripts/setup-yum.sh | sh
```

yumコマンドを用いてインストールします。

```
sudo yum install -y mackerel-agent
```

b. rpmコマンドでインストール

rpmコマンドを用いてインストールします。

```
# sudo yum install -y Mackerel-agent
```

⑩ 2 「設定ファイルを記述する」についても、同じように実行します。

2 設定ファイルを記述する

以下のコマンドを実行して /etc/mackerel-agent/mackerel-agent.conf に設定を記述します。

```
sudo sh << SCRIPT
cat >>/etc/mackerel-agent/mackerel-agent.conf <<'EOF';
apikey = "/9yRLYCw6DA+WjNn0+y8WPOYFdM22jusACpHhLB1zR4="
EOF
SCRIPT
```

3 エージェントを起動する

以下のコマンドを実行することでエージェントが起動します。

```
sudo sh << SCRIPT
cat >>/etc/mackerel-agent/mackerel-agent.conf <<'EOF' ;
apikey = "/9yRLYCw6DA+WjNn0+y8WPOYFdM22jusACpHhLB1zR4="
EOF
SCRIPT
```

⑪ **3** の「エージェントを起動する」も、同じように実行します。

```
[root@web01 ~]# sudo /etc/init.d/Mackerel-agent start
Starting Mackerel-agent: [ OK ]
[root@web01 ~]#
```

以上で、Mackerelのリソース監視がスタートします。

⑫画面左側のメニューで [hosts] を選ぶと、監視画面が表示されます。監視開始後、10分程度経過すると監視結果が表示されるようになります。

(3) 仮想マシンのスペック変更

仮想マシンのスペックはクラウドコンソールから仮想マシンを選び、仮想マシン画面で [リサイズ] を選択することで変更できます。ただし最小スペックの「Light」プランからリサイズする場合と、スペックをダウンさせる場合は、対象とする仮想マシンを停止する必要があります。詳細は、IDCFフロンティアのウェブサイト内の「よくある質問」の「仮想マシンを停止せずにリサイズできますか？」をご確認ください。

- ①クラウドコンソールの「仮想マシン」画面でスペックアップする仮想マシン「web01」を選択します。

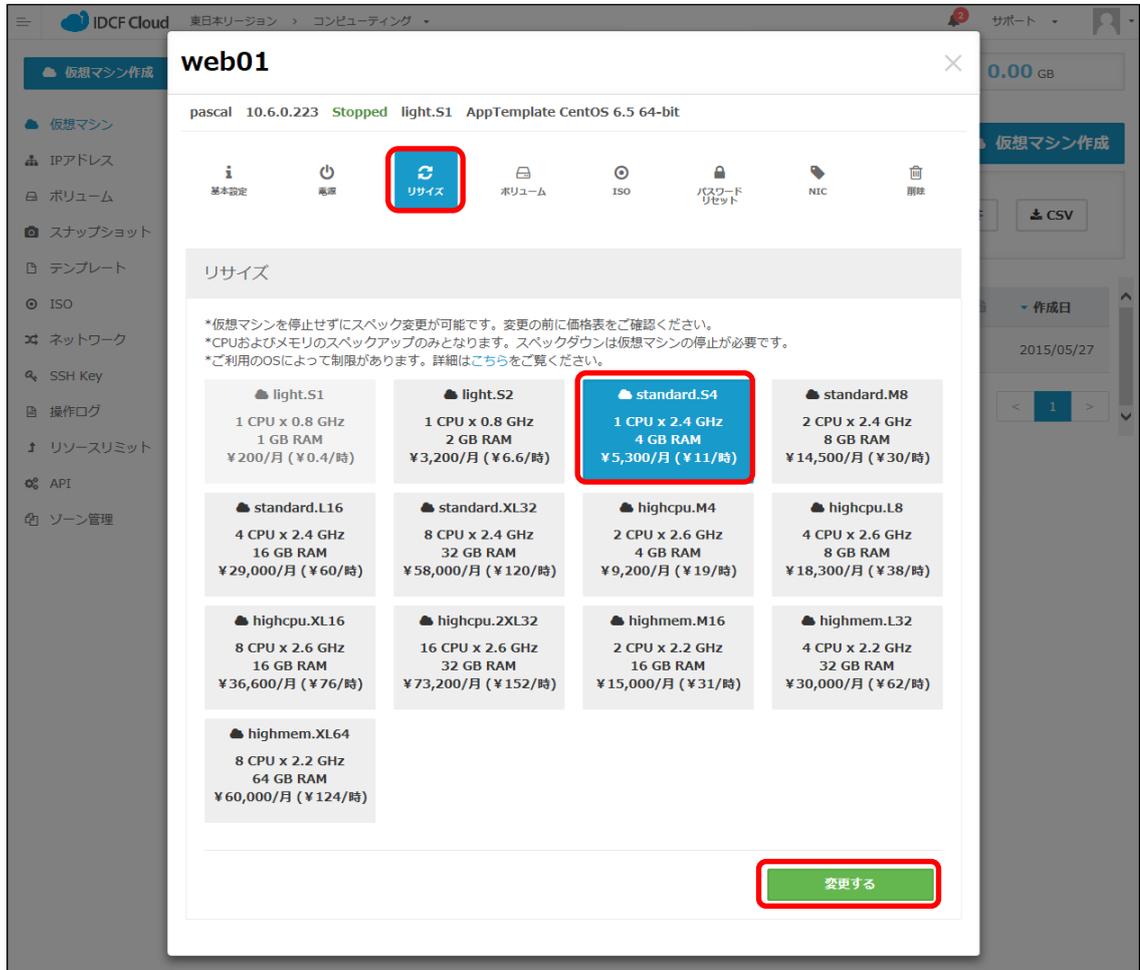


- ②「web01」の設定画面で「電源」を選択して「停止する」を選択します。



- ③確認画面に「はい」をクリックすると、マシンが停止します。

- ④ 「web01」画面で [リサイズ] を選択し、スペックを選択して [変更する] をクリックします。



- ⑤ 確認メッセージに [はい] をクリックするとスペックが変更されます。

- ⑥ [電源] をクリックし、[起動する] をクリックします。



本

番

環

境